

総合的な学習の時間とのつながりを もたせた、特色ある学校づくり

『地域の学校としてある』

ことを目指して

日光市立栗山小学校 枝 敏 充

「本に親しむ夕べ」これは、本校が本年度受賞した「子どもの読書活動実践優秀校文部科学大臣表彰」を、地域のみなさんがお祝いしてくれた集いの名称である。

本校は、栃木県の北西部山間地に位置する児童数十六名の小規模複式校であり、「本に親しむ夕べ」が示すように、学校は『地域の学校』としてある。

本校の学校づくりの核となり、教育活動の中心となつてゐるのが、この『地域の学校』としてある『ことである。その具体的な教育活動の一つとしてあるのが、総合的な学習の時間の「地域探索」である。

これは、学区内にある九つの地域を、学期ごとに一つ一つ巡り歩く活動である。ある地域での活動では、地域にあるわさび田や寺を見学した後、地域のみなさん



自分達がついて、丸めた餅を地域内を探索しながら、各戸に配って歩く様子

と山菜を採り、塩漬けの方法を教えていただいた。そして、塩漬けされた山菜は、地域の祭礼の際、いつもお世話になっているお礼として、地域のみなさんに食べていただいた。また、別な地域の探索では、地域のみなさんと一緒に餅つきをし、鏡餅を作り、それを「幸せな年が迎えられますように」と地域の各家々に配って歩いた。写真は、十月に行われた地域探索の様子である。

地域のみなさんと一緒に餅をついて丸め、その後、地域内を案内していただきながら、丸めた餅を「私たちがついて丸めた餅です。」と、地域内の一軒一軒に配って歩いた。

こうした地域探索を通して、地域のみなさんの「学校」や「自分たち」を見守ってくれている温かな眼差しに、

ふるさとを愛し郷土文化を継承する学習

佐野市立氷室小学校 西 沢 淳 子

本校は、栃木県南西部に位置する佐野市の、山間部にある児童数三十四名の小規模校です。

本地域には、昔から歌い継がれている田植え唄があります。以前は、それに合わせて婦人会の方々が寸劇を行っていました。が、存続が難しくなり、十七年程前から「水木の田植え歌」として児童が引き継ぎました。

唄は一番から六番まであり、牛が出てきて田をならし、肥料蒔き、苗蒔き、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、選別、米俵となつて終わります。

「水木の田植え歌」の寸劇については、総合的な学

子どもたちは数多く接し、触れることができた。

今後も『地域の学校としてある』ことを目指し、「地域の人とたくさん関わり」「地域のことを知り」「地域のために自分たちのできることを考える」。この視点を大切にしながら、様々な活動を行い、特色ある学校づくりに努めていきたい。

習の時間に実施しています。

ふるさとのよさを知ろうというねらいのもと、地域の方に意義や歴史を語ってもらう練習を行います。二月から三月にかけて配役を決め、六年生がいるうちに引継ぎ練習を行い、七月までに完成させます。三年生以上二十一名で行っています。

今年度も、多くの発表の機会を得ました。七月の界小と船津川小との交流会。

八月のくずう原人まつり。九月の越名舟唄全国大会アトラクション。十月の高齢者介護施設訪問。十一月の学習発表会。十二月の旗川小との交流会。このような



「水木の田植え歌」

発表経験の積み重ねと、人々から大きな拍手や感動の言葉をかけていただくことにより、児童は自信をもち、次への希望を膨らませています。

本校の学校経営の四つの重点施策の一つに、「氷室小だからできる教育」を掲げ、伝統芸能「水木の田植え歌」を通して愛郷心の育成と郷土文化の再発見をあげています。実際に、学校田で全校稲作体験活動も行い、地域の方をお呼びして収穫祭も行っています。

児童数の減少が心配される本校ではありますが、郷土を愛する児童たちが、生き生きとした「水木の田植え歌」の演技を続けながら、人々とかかわり、感動をつないでいけたらと思つています。